

過去の治療データの調査研究への使用のお願い

当院では下記の研究を行っております。この研究は、【5-アミノサリチル酸塩製剤を使用した後に有害な症状が生じた炎症性腸疾患の方に何らかの特徴がみられるかどうか】を調べることを主な目的としています。そのため、過去に潰瘍性大腸炎の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

課題名：炎症性腸疾患患者における5-アミノサリチル酸塩不耐症の臨床的特徴と薬剤の特徴に関する研究

<目的及び概要>

2010年1月～2023年3月に大阪大学および共同研究機関において、潰瘍性大腸炎、クローン病（阪大のみ）の患者のうち、5-アミノサリチル酸塩製剤を内服もしくは注腸した際に有害な症状を呈した16歳以上の方を対象とし、5-アミノサリチル酸塩製剤を使用した後に有害な症状が生じた炎症性腸疾患の方に何らかの特徴がみられるかどうか検討します。

<研究方法>

大阪大学および共同研究機関に保存されているカルテの情報（病歴、家族歴、既往歴、使用した薬剤の種類や容量、発生した有害な症状の内容、治療経過、血液検査結果等）を参照して統計的な解析を行います。研究期間としては2025年3月31日までを予定しています

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<費用に関して>

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。また、患者様への謝礼等ありません。

<研究者>

消化器内科：小森真人 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）